

対象年度	令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	北関東中学校野球大会開催事業					予算事業名	北関東中学校野球大会開催事業費
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分
			10	06	01	2001	経常経費
総合計画体系	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文 4-3誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進(スポ ①スポーツ・レクリエーション活動環境の充実 2各種大会の開催					事業の区分	主要事業 重点事業
						担当課係等	スポーツ振興課 スポーツ振興係
事業期間	継続 (昭和25年度～ 年度)						
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】				【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
選手間の交流や参加中学校相互の親睦を深めるとともに、青少年の強健な体力と旺盛な気力を養い、心身の健全育成を図る。また、「する」スポーツに加え、「見る」スポーツ、「支える」スポーツの振興を図ることにより、ゆうきの生涯スポーツの向上に寄与する。				第2次世界大戦後の復興期に、少年達が少しでもスポーツをする機会を増やす目的として、昭和25年7月から開催された。また、開催にあたっては、市民から寄付のあった土地を、当時の野球愛好家達が手造りでグラウンドを整備し、第1回大会を迎えた。			
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】				【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】			
毎年7月26日～7月31日の6日間の会期で、市内4会場において、北関東中学校野球大会を開催する。 ・野球部員には、選手として活躍していただくとともに、一生に残る思い出を作ってもらえる場を提供する。 ・市民には、球場に足を運んでいただくためのPRを行う。 ・審判員及び中高生ボランティアには、支えるスポーツの醸成を図る。				茨城県、栃木県の中学校野球部員 野球愛好市民 市内野球審判員 中高生等ボランティア 【事業をとりまく環境の変化】 少子化や子どもたちの野球離れにより、野球部員が不足し、出場辞退や他の中学校と合同チームで参加する中学校が増加している。今後は、参加中学校の見直しを行う必要がある。 審判員、高校生ボランティアについても、人数が不足し大会運営が厳しくなっているため、大会日程や球場数の見直しも検討する。			
【令和3年度 事業内容】			【令和4年度 事業内容】			【令和5年度 事業内容】	
第7回北関東中学校野球大会の開催			第7回北関東中学校野球大会の開催			第7回北関東中学校野球大会の開催	

■事業費

		R01年度	R02年度				
財源内訳	国庫支出金	0	0				
	県支出金	0	0				
	地方債	0	0				
	その他	0	0				
	一般財源	2,845	2,562				
歳入計(千円)		2,845	2,562				
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)				
	07 報償費	854	856				
	10 需用費	1,117	1,209				
	11 役員費	3	14				
	12 委託料	103	80				
	13 使用料及び賃借料	221	338				
	15 原材料費	32	65				
	18 負担金補助及び交付金	515	0				
	歳出計(千円)(A)		2,845	2,562			
	伸び率(%)			-9.94			
備考	総合計画 123ページ 予算書 188ページ						

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	北関東中学校野球大会実行委員会の開催	回	目標	3.00	2.00	2.00
			実績	3.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	参加中学校数	校	目標	91.00	91.00	91.00
			実績	84.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	歴史と伝統ある大会であるとともに、「する」スポーツに加え、「見る」スポーツ、「支える」スポーツの振興に寄与している。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	中体連専門部や軟式野球連盟が主体となることも考えられる。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	実施主体と同様、公平性も勘案した上で検討する。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	実行委員会が運営しており、豊富なノウハウをいかし効率的に実施している。
公平性	受益者の偏り	C 偏りがある	選手・協力者ともに野球関係者がほとんどであり、観客も父兄以外はわずかであることから、行政が行う事業として公平性があるとは言い難い。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	歴史ある大会であり、前例にならう部分もある。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	毎回スムーズな大会運営が行えている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
歴史ある大会であり、運営はスムーズに行えている一方、改善・改革が進まない面がある。また、大会方式や日程についても、野球部員や審判員の減少、7月の酷暑を十分に考慮した上で、前例にとらわれず検討する。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
実施主体や手段の変更、大会の規模について検討する。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p>
<p>方向性の具体的内容</p> <p>野球人口の減少や中学校の部活動が大きく変わる中、本大会は岐路を迎えている。運営手法の検討も必要ではあるが、本大会の良さを市民をはじめ近隣住民に再認識してもらい、多くの方々に会場に足を運んでいただき野球少年に大きな声援をいただけるような大会にしていくことが最も重要であると考えている。そのための施策を検討することが先決である。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p>
<p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>